

(6)

奉復第...の事

査照

添書

校合

杉浦

8月

8月 日發付

部長 倉本 房

部長 課長

班長

主任

8月 17日起案

奉復第...の事

宛

日附 昭和 22 年 8 月 21 日

發信者名

部下

學界丸津難命の日に行事

八月二十日 學界丸津難命十二週年紀念日 行事

行事 行事 行事 行事 行事 行事 行事 行事 行事 行事

行事 行事 行事 行事 行事 行事 行事 行事 行事 行事

行事 行事 行事 行事 行事 行事 行事 行事 行事 行事

行事 行事 行事 行事 行事 行事 行事 行事 行事 行事

吳地方復員殘務處理部

(第 十)

小形正

二日

開公

中國國

境港市

執行

三十四年

金

金

金

金

金

金

金

金

金

金

金

金

麻公（麻公） 文部省（文部省） 建設省（建設省） 實業部（實業部） 河出公（河出公） 三命（三命） 吉田（吉田） 行武（行武） 行武（行武）

一〇〇 皇太子御即位の御禮（生花 果物 香料）奉呈

（天ノ御道）  
衣冠御禮奉呈御儀

一二〇 全員、使香礼拝（当節、皇太后、皇太妃御前）

一二三 皇太子御即位の御禮、皇太子御前、全奉儀者、皇太后御前、皇太妃御前

儀室、皇太子御前、儀室御前、皇太子御前、皇太子御前

皇太子御前、御儀散一、

三、見

ハ、皇太子御即位の御禮、皇太子御前、皇太子御前、皇太子御前

皇太子御即位の御禮、皇太子御前、皇太子御前、皇太子御前

皇太子御即位の御禮、皇太子御前、皇太子御前、皇太子御前

( 皇 氏 )

研究書及を要す。その謬めます。  
あり。今次は極めて。和やの。今。零園文のう。ち。終。了。す。  
と申す。務まます。

(別紙)

在日朝鮮人総聯合会及び在日韓人総聯合会  
の会談事

朝鮮人総聯合会副委員長(以下朝鮮)と異議あり。

本日の件は。校舎に。各々。有。必。要。を。述。べ。御。意。を。伺。は。し。

道。骨。の。本。國。送。入。事。態。の。り。移。入。の。事。の。問。題。を。あ。ら。わ。今。日。

実。現。一。方。の。は。は。の。不。可。能。な。理。由。を。あ。ら。わ。の。ま。今。日。北。早。の。活。

動。を。見。出。す。と。い。ふ。は。今。ま。た。の。過。り。

復。活。の。事。が。極。限。に。達。し。た。決。然。的。な。権。限。を。今。日。の。意。を。あ。ら。わ。の。事。は。意。見。者。達。上。

の。年。道。に。中。央。の。信。を。も。た。し。た。と。い。ふ。今。後。の。見。通。し。を。あ。ら。わ。の。事。は。

精神の活動は、意識の二つに分れる。

即ち、意識の二つに分れる。即ち、意識の二つに分れる。

意識の二つに分れる。意識の二つに分れる。

今、意識の二つに分れる。意識の二つに分れる。

意識

精神の活動は、意識の二つに分れる。

精神の活動は、意識の二つに分れる。

精神の活動は、意識の二つに分れる。

精神の活動は、意識の二つに分れる。

精神の活動は、意識の二つに分れる。

精神の活動は、意識の二つに分れる。

精神の活動は、意識の二つに分れる。

精神の活動は、意識の二つに分れる。

精神の活動は、意識の二つに分れる。

近世の日本の問題を一瞥して、往時一般の日本を論じて、斯くの如く方針を  
示し、その理を論じて、その旨を述べ、御米の穂に及び、尚其後には  
國の未來を憂ひ、その商戰の途を打開するに、權限を以て  
し、そのが、早期解決を期す、積極的の全文、持たし、其解決に  
後の、遂に、その旨を述べ、

(朝) 貴國問題、幾く解決の途を、因るが、人道上の問題、一善の如く、その穂に  
す、その旨を述べ、其後の積極的の旨を、その旨を述べ、一番、有為の、早苗  
と、

入、その旨を述べ、其後の積極的の旨を、その旨を述べ、一番、有為の、早苗  
と、

(朝) 貴國問題、幾く解決の途を、因るが、人道上の問題、一善の如く、その穂に  
す、その旨を述べ、其後の積極的の旨を、その旨を述べ、一番、有為の、早苗  
と、

— 1 —  
The ... ..  
The ... ..

(補) 現存之 ... ..

The ... ..

The ... ..

The ... ..

The ... ..

The ... ..

The ... ..

The ... ..

The ... ..

(附) 現存之 ... ..

The ... ..

(期) 昔は六条家 住に二の朝鮮参府有るは未だ海程の<sup>遠く</sup>に在りしなり  
より 三十四年参府の<sup>地</sup>にあり 今より参府の<sup>地</sup>の<sup>近</sup>に在りて 無創の<sup>地</sup>  
<sup>と</sup> 今より参府の<sup>地</sup>の<sup>近</sup>に在りて 無創の<sup>地</sup>の<sup>近</sup>に在り  
今より参府の<sup>地</sup>の<sup>近</sup>に在りて 無創の<sup>地</sup>の<sup>近</sup>に在り

(明) 昔は六条家 住に二の朝鮮参府有るは未だ海程の<sup>遠く</sup>に在りしなり  
より 三十四年参府の<sup>地</sup>にあり 今より参府の<sup>地</sup>の<sup>近</sup>に在りて 無創の<sup>地</sup>  
今より参府の<sup>地</sup>の<sup>近</sup>に在りて 無創の<sup>地</sup>の<sup>近</sup>に在り

封



特 鏡

小職は、たまたま二十日、二十一日鳥取  
で開かれた一復関係主催の中四国各県世  
話関係課長会議出席に引続き、境港市で  
執行せられた葬儀・献納職者三十周年慰靈  
祭に参列不在でしたので、兩課長が応接  
をしました。

呉復第一六号の二の三〇

昭和三十三年八月二十八日

呉地方復員部長

引揚援護局業務第二課長 殿

浮島丸遭難命日の行事について

八月二十四日は浮島丸遭難十二週年記念日にあたりますので呉地区在住朝鮮人代表が当部靈安室に拝礼して冥福を祈りました。たが、その概要は次の通りであります。

一 事前の連絡準備等

八月二十日 在日本朝鮮人総聯合会広島県本部から呉復として  
の行事計画及び聯合会呉支部から連絡の有無  
について電話照会がありました。たが何れもない旨

を回答しました。

尙、当日関係者の参拜あることを予期し予め靈安室の整備を行いました。

三 命日当日の行事

一一〇〇 呉支部役員から供物（生花、果物、香料）捧呈

（参集者）広島県本部議長 [REDACTED] 外十一名（何れも北鮮系）

一一二〇 全員焼香礼拝（当部主任以上、同席拝礼）

一一三五 朝鮮人総聯合会側の要望により全参集者と当部職員が会議室に集合し概ね別紙要旨のような会談を行ない、一三〇〇頃穏やかに解散しました。

四 所 見

このたびは北鮮系の者ばかりが拝礼集合し会談に望んだのでありますが、その云うところは一応筋を通しているように

思われますので従来当部具陳の事項と併せ慎重積極的に研究  
善処を要するものと認めます。

尙、この会談は極めて和やかな雰囲気のうちを終了したこ  
とを申し添えます。

(別紙)

在日朝鮮人總聯合會員と当部職員との会談要旨

朝鮮人總聯合側發言 以下(朝)と略記する。

本日の拝礼を機会に吾々の希望を述べ御意見を伺いたい。遺骨の本国還送は舞鶴から移管以来の問題であるが今に実現しないのは何か不可能な理由があるのか、吾々は一日も早く活路を見出さなくてはならないと思う。

復員部は地方機関として決定的な権限はないと思うが、吾々の意見希望を卒直に中央へ伝えてもらいたく、又今後の見通し考えを伺いたい。

呉地方復員部發言 以下(呉)と略記する。

御意見の通りすべての御遺骨が一日も早く納まるべきところへ納まられるよう当部はもとより中央においても種々

配慮されているが今日まで実現にいたらないのは遺憾である。

(一 朝) 遺骨を早く還送することについては何人も異論のないところであるが、お互に積極的でありたい。中央の指令をまつだけでなく現実に保管している地復の積極的な動きが望ましい。

(一 吳) 当部は決して消極的ではなく機会ある毎に強く意見を述べているが現在の状況では簡単に解決するものとは思われない。

(一 朝) 厚生省の態度が積極的であれば他は自ら解決すると思ふ。地復も含め更に強く押してもらいたい。

(一 吳) 過去二回に亘つて還送したことは御承知のことと思ふ。遺骨の還送は当部のみの問題でない。陸・海・一般すべて

歩調を揃え国の方針によつて処理されるものであることを御承知願いたい。尙、地復は国の出先機関としてこの問題にはつき各方面と打開策を接渉するよ様な権限をもつていないが、早期解決を願う積極的な気持については決して人後に落ちないつもりである。

〔朝〕 責任問題で誤解されては困るが人道上の問題として善処をお願いするもので地復が積極的に動いていたとくのが一番有効な早道と思ふ。

火災でも起きたら責任は誰がとるか、さきに当聯合厚生部長が述べたよ様な措置を講じてもらいたい。

〔呉〕 災害防止には最善の考慮を払つてゐる。

旧海軍時代の靈安所明法寺被爆の苦い経験に鑑み万一にも事故があつた場合は、只あやまつて済むという筋のもので

もないので当部としては終夜直を配してまで災害防止に万金を期していることを御諒承願いたい。

(朝) 現在では民族的感情にあふられている。

日本政府が船を出さず終局的には寺にあづけ又は墓地等に納骨される等のことがあつては納得できない。終戦十有余年の今日まで仮安置されていることは人道上の問題である。他国は何れも解決しつゝあるにも拘わらず、ひとり吾が同邦のみが残されたのである。厚生本省の人の頭には呉復にこれだけの遺骨が安置されていることを忘れられているのではないか。地復閉鎖のときはどうなるのか。県市とも連絡をとつて強力に善処を要望してほしい。日赤等を通じて還送されることはないか。

(呉) 個人的な一つの考案としては日赤を通すこともあり得



ると思ふが、具体的な話のあることは聞いていない。

〔朝〕 吾々は広島県在住二万朝鮮出身者を代表し遺族の心を述べているのである。三千万朝鮮人はもとより、八千万日本人が人道的立場に立つて真剣に考えてもらえれば直ちに解決する問題であるが、日本政府に誠意が認められないと思ふ。吾々の社会的働きかけと一体となり今後共よろしく願ひする。

〔呉〕 貴重な御意見を拜聴したが御希望に副い得るよう努力したい。

〔終〕